

令和4年度第4回ゼロカーボン研究会 事後調査報告

I. 調査概要

(1) 調査目的

ゼロカーボン研究会に参加した自治体及び事業者等の研究会へのニーズを調査・分析し、岡山連携中枢都市圏、周辺自治体、事業者及び大学等と「ゼロカーボン社会」実現へ向けた“実現可能な事業創出”につながる研究会及び分科会を開催することを目的とする。

(2) 調査実施日

2022年11月25日（金）研究会終了後

(3) 調査方法

第4回ゼロカーボン研究会に参加の自治体16名、事業者・その他23名を対象に、アンケート調査を行った。

アンケート形式は、用紙記入の回答方法のみとした。

(4) 調査項目

項目	主な設問
第4回研究会	研究会への満足度、参考になった講演内容、印象に残った話、今後の取組予定
第5回研究会	次回研究会で詳しく聞きたいこと・質問
その他	意見・感想

(5) 分析の視点

回答者の所属（自治体、事業者・その他）で回答構成に違いがあるかも含め、分析を行った。

(6) アンケート回収状況

全体 : 参加者39名中30名回収（回収率76.9%）

自治体 : 参加者16名中13名回収（回収率81.3%）

事業者・その他 : 参加者23名中17名回収（回収率73.9%）

II.調査結果

1. 研究会への満足度

質問①：今回のゼロカーボン研究会への満足度をお聞かせください。

選択肢：非常に満足した

まあ満足した

どちらとも言えない

やや不満である

非常に不満である

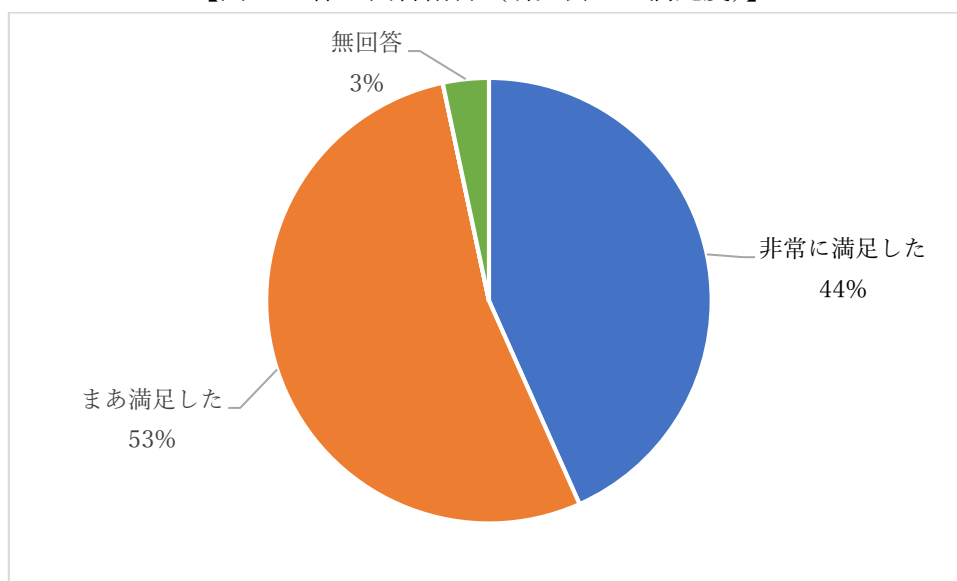
・全体で、「まあ満足した」(53%)が最も多く、次いで、「非常に満足した」(44%)が多い。「どちらとも言えない」「やや不満である」「非常に不満である」という回答はなかった。

・自治体と事業者・その他で、回答構成に大きな違いはなかった。

【表1 回答一覧 (研究会への満足度)】

	非常に満足した	まあ満足した	どちらとも言えない	やや不満である	非常に不満である	無回答	合計
自治体	5	8	0	0	0	0	13
事業者・その他	8	8	0	0	0	1	17
合計	13	16	0	0	0	1	30

【図1 全体の回答割合 (研究会への満足度)】



質問②：〈任意〉 やや不満である、非常に不満であるご回答の方、その理由をお聞かせください。

回答：自由記述

- ・質問の該当者がいなかったため、回答はなかった。

2. 第4回研究会に関して、参考になった講演内容

質問③：今回のゼロカーボン研究会に参加してみて、特に参考になった講演内容を1つお選びください。

(※複数回答者は無効回答とする。)

選択肢：ソーラーカーポートの市場動向と普及に向けた取組

災害時にも活躍する太陽光発電電力のEV充電利用

コミュニティ・カーシェアリングによる地域課題解決の取組みと脱炭素化

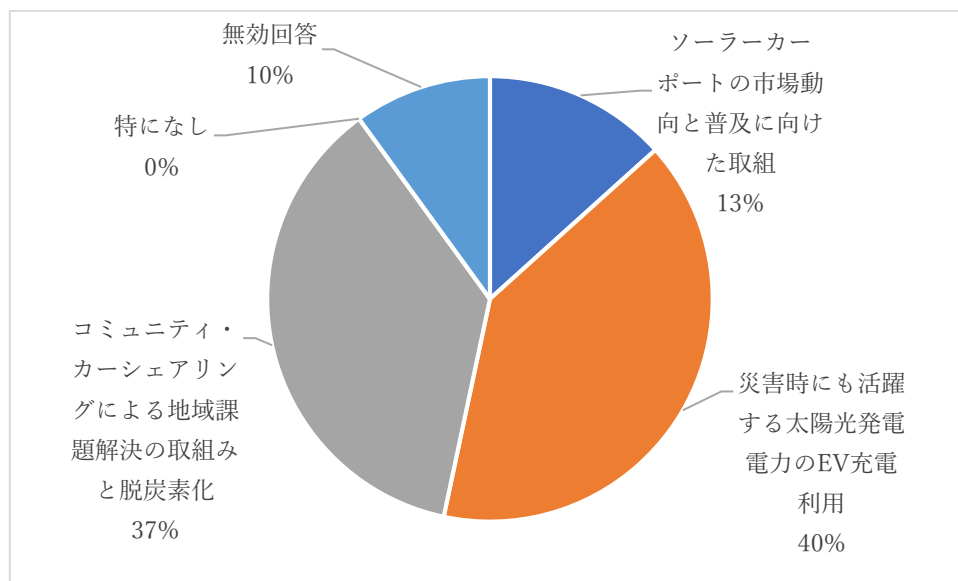
特になし

- ・全体では、「災害時にも活躍する太陽光発電電力のEV充電利用」(40%)、「コミュニティ・カーシェアリングによる地域課題解決の取組みと脱炭素化」(37%) がともに多い。
- ・自治体では、特に「コミュニティ・カーシェアリングによる地域課題解決の取組みと脱炭素化」に回答が多く、半数以上(62%)が参考になったと回答した。
- ・事業者・その他では、特に「災害時にも活躍する太陽光発電電力のEV充電利用」に回答が多く、半数以上(53%)が参考になったと回答した。

【表2 回答一覧 (参考になった講演内容)】

	ソーラー カーポ ート	太陽光発電 電力のEV 充電利用	コミュニ ティ・カー シェア リング	特になし	無効回答	合計
自治体	1	3	8	0	1	13
事業者・その他	3	9	3	0	2	17
合計	4	12	11	0	3	30

【図2 全体の回答割合（参考になった講演内容）】



3. 参考になった話・印象に残った話

質問④：今回の研究会で、参考になった話・印象に残った話があれば、お聞かせください。

回答：自由記述

【表3 回答一覧（参考になった・印象に残った話）】

	回答内容
1	コミュニティ・カーシェアリングは脱炭素化のみならず、地域連携等にも併せて行えることが良いと感じた
2	難しい内容もありましたが勉強になりました。
3	カーシェアリング：当町は山間地域であり、交通は車一本であるため、高齢化によりコミュニティ・カーシェアリングに大変気になるので参考にしたい。
4	コミュニティ・カーシェアリングはこれからの高齢化社会を考えると非常に参考になった。現在当市ではデマンドタクシーを検討しているが、EVをより良い活用できるようになればと思った。
5	コミュニティ・カーシェアリングは脱炭素化だけでなく地域づくりもできるという点がとても魅力的で印象に残った。
6	技術革新が待たれる内容のように感じた。
7	EVを利用した電力バランスの話
8	どの講演も大変参考になりました。パナソニック様を選択したのは面的で多様な取

	り組みであったため。
9	コンシェルジュ・データ活用(p.32)
10	当社でもシェアリング事業の検討、導入を行っておりますが地域課題の解決にシェアリングをもっと活用するべきだと感じてます。
11	カーシェアリングの普及に伴い、Co2 排出削減だけでなく、地域コミュニティのつながり増加に寄与している点。
12	日中の余っている（単価の安い）太陽光を EV に充電し、高い時間に利用（放電）するのは理にかなっているし脱炭素を実行できている。日中に放電するためには仕事先で充電できる必要があるというのは理解できる。
13	パナソニック様の講演内容にあった事業スキームなどを取り入れたり参考になる可能性を感じたので深堀したいと思いました。
14	エネルギー事業者として大変参考になりました。平時、災害時とともに EV を活用した省エネ、脱炭素、DR 等とても興味がある。
15	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所のソーラーカーポート ・車→動く電源 ・目的（カーシェア）が地域づくり
16	<ul style="list-style-type: none"> ・双方向オンボードチャージ EV ・EV=動く蓄電池でなく電源として考える⇒ムービングインバーターとしての考え
17	本学での公用車に対して、同様の取り組みを検討・取り入れていく必要性を感じた。
18	パナソニック様のモビリティエネルギーハブの取り組みが参考になった。 多治見市の(株)エネファントの取り組みは成功事例として岡山でも取り組めると地域活性化にもつながると感じた。 地域の企業にも参考にしていただき実装につながると素晴らしいと思う。
19	一般社団法人カーシェアリング協会の代表理事 吉澤様の事例のお話は、大変インパクトがあった。直面した厳しい状況に地域の人々が、単に経済性だけでなく、地域に役立つ、高齢者の移動を広げる、高齢者の免許返納、タクシーとカーシェアリングの使い分け等々に、問題にしっかりリーダーを中心に関係者がご苦労も多かったと思いますが真正面から取り組んだ事があったと感じました。自らの取組の参考になった。

4. 第4回研究会のテーマに関しての取組予定

質問⑤：今回の研究会テーマ「運輸部門の脱炭素化」について、あなたの考えに最も近いものをお選びください。

選択肢：来年度からの実施に向けて、何か取り組みたい

実施時期は未定であるが、取り組む方向で検討したい

今後取り組む予定はない

未定

その他

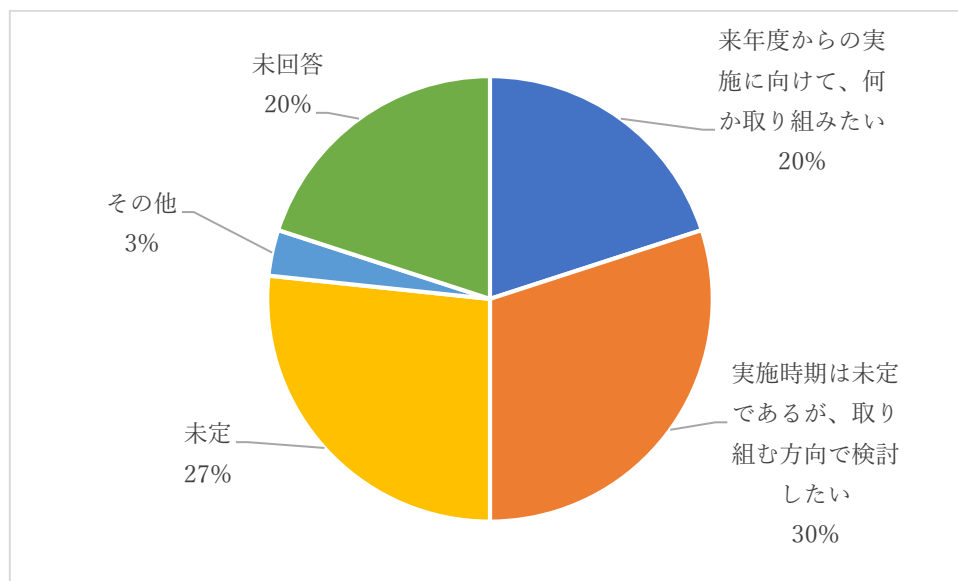
・全体で、「実施時期は未定であるが、取り組む方向で検討したい」（30％）が最も多く、次いで、「未定」（27％）、「来年度からの実施に向けて、何か取り組みたい」（20％）が多く、回答にバラつきが見られた。

【表4 回答一覧（今後の取組予定）】

	来年度実施に向けて取り組みたい	時期未定だが取り組みたい	今後取り組む予定はない	未定	その他	無回答	合計
自治体	1	6	0	5	0	1	13
事業者・その他	5	3	0	3	1	5	17
合計	6	9	0	8	1	6	30

・その他の回答：①航空・船舶の動向紹介（岡山市地域）

【図3 全体の回答割合（今後の取組予定）】



5. 今後聞いてみたいこと

質問⑥：次回の研究会のテーマとして「小水力発電」「RE100」「太陽光パネルのリサイクル」などを考えています。このテーマについて詳しく聞いてみたいこと・質問などがございましたら、ご記入ください。

回答：自由記述

【表5 回答一覧（今後詳しく聞きたいこと）】

	回答内容
1	小水力発電の適地の見つけ方
2	これらのテーマについて知識を有していないため、はじめに概要をなぞるような発表から行ってもらいたい。
3	特にありません。
4	小水力：導入場所について水利権等、利害関係者との協議、設置までの持っている方についての事例が知りたい 太陽光パネルのリサイクル：当事業にあたっての課題
5	PV リサイクルの実態
6	興味深いテーマだと思います。研究会の開催が楽しみです。
7	太陽光発電パネルのリサイクルが一番興味があるので聞いてみたいです。大量に設置されていく太陽光発電の更新の際には必ず問題になると思うので今後事業として関わるということもあり参考にしたいです。

8	民間が小水力に取り組むことが出来るのでしょうか？
9	脱炭素先行地域・環境モデル都市である西粟倉村の取組事例 (小水力発電をはじめとしたゼロカーボン施策推進方法等)
10	"RE100 の事例と事業者の目的・期待効果、経済性のポイント、岡山市内事例 小水力発電の最新技術、水利権など課題、経済性のポイント、管理の難しさ、岡 山市内成功事例

6. その他、意見・感想

質問⑦：その他ご意見・ご感想などがございましたら、ご記入ください。

回答：自由記述

【表 6 回答一覧（その他意見・感想・質問）】

	回答内容
1	EV に関するかなり幅の広い知識が得られる研究会だった。 もう少し EV に焦点を絞った内容にしてもらえると良かったと思う。
2	本日はありがとうございました。
3	引き続きよろしく願いいたします。
4	いつも、とても参考になります。ありがとうございます。
5	大変参考になりました。ありがとうございました。
6	岡山市が脱炭素取組先進 EU 都市/国内都市と連携し産官学グリーン専門家も含めた、中長期的な脱炭素取組の情報交換と活用する組織の形成し岡山県内を含む市町村の自治体脱炭素の姿を示すようなリーダーになることを期待する。EU 都市は、日本の常識を越えるものがある可能性が高いと考えます。 個別新技術や、Dx of Green 技術については企業に期待し、企業にあるべき姿を提示し地域に参集出来るような体制づくりを期待する。(at 研究会など)